

北陸圏広域地方計画  
第3回「安全・安心と暮らし専門分科会」  
検討資料

平成19年6月13日  
北陸圏広域地方計画推進室

# 1. 独自で先駆的な地域づくりに向けて…

- 独自で先駆的な地域づくりに向けた北陸特有の課題を把握するため、マーケティング手法の一つであるSWOT (強み:Strength、弱み:Weakness、機会:Opportunity、脅威:Threat) 分析手法を用いて、北陸の強み・弱み分析を行い、北陸独自の課題解決の方向性を明確化

## (1) 時代の潮流(外部環境の変化)

### 【機会】

グローバル化と環日本海諸国の発展

癒しの重視

- ・日本人のライフスタイルの変化
- ・団塊世代のセカンドライフ

新たな「公」の役割の拡大

防災技術の向上

### 【脅威】

人口減少・高齢社会の到来

経済や人的交流に関する国内他地域との競争の激化

災害・治安・環境等リスクの増大

- ・東海地震などの災害の恐れ
- ・地球環境問題
- ・環日本海諸国がもたらす黄砂などの国際的な環境リスク

## (2) 北陸圏の地域特性(内部環境の強みと弱み)

### 【強み】

良質な生活環境

- ・全国一優れた居住空間、居住環境
- ・女性の高い就業と長寿地域
- ・高速道路や新幹線、空港、港湾など整備されつつある社会資本

多様で豊富な地域資源等

- ・優秀な人材の輩出や食糧、エネルギー等の供給基地
- ・豊かな資源をもたらす日本海
- ・四季の明確な特色ある自然、個性的な歴史・伝統文化、美しい景観

- ・特色ある産業、特色ある伝統産業

地理的優位性

- ・日本列島の中央に位置し、三大都市圏を後背地に持つ地理的な優位性
- ・日本海を挟んで成長する環日本海諸国に對面

### 【弱み】

厳しい自然環境

- ・脆弱な地勢や厳しい自然条件
- ・日本海側の冬場に荒れる気候

相対劣位な利便性

- ・半島地域や中山間地における過疎化の進展
- ・中心市街地の空洞化
- ・車社会の拡大と公共交通の衰退
- ・相対的に少ない国際的なヒト・モノの交流

相対的に低い交流・連携

- ・不十分な3県間や大学間の連携
- ・面積、人口、経済規模は小
- ・未活発な新規創業や経済・産業交流

雪国の暗いイメージ

## 2. 関連計画等からみた方向性

- SWOT分析手法による北陸独自の課題解決の方向性の明確化に向け、関連計画等からみた方向性を整理

	各県計画	国関連計画
交流・連携・拠点	3大都市圏等との交流	環日本海・日本海国土軸の拠点
生活	安全・安心な生活	安全・安心の確保
	文化活動・豊かな生活	
産業・経済	活力ある産業	活力ある圏域

### 【関連計画での方向性】

- ・安全・安心な生活の確保
- ・産業活力のある圏域
- ・わが国をリードする圏域（環日本海・日本海国土軸の中核・拠点）
- ・交流・連携の促進

### 関連計画からみた3つの方向性

**【方向性1】**  
**中核・先導区域の役割**  
 環日本海交流を先導  
 日本海国土軸の中核

**【方向性2】**  
**圏域内の充実**  
 安全・安心な暮らし  
 文化を享受する豊かな生活

**【方向性3】**  
**交流・連携への展開**  
 地域を中心とした交流

圏域の安全・安心な暮らしの充実を通して得られた知恵を活用することで、環日本海交流の先導・日本海国土軸の中核形成の役割発揮へ

圏域の豊かな生活の充実を通して得られた生活環境資源や知恵を活用し、国内外の交流・連携の展開へ

## SWOT分析による課題の抽出

### 3. SWOT分析による課題の抽出

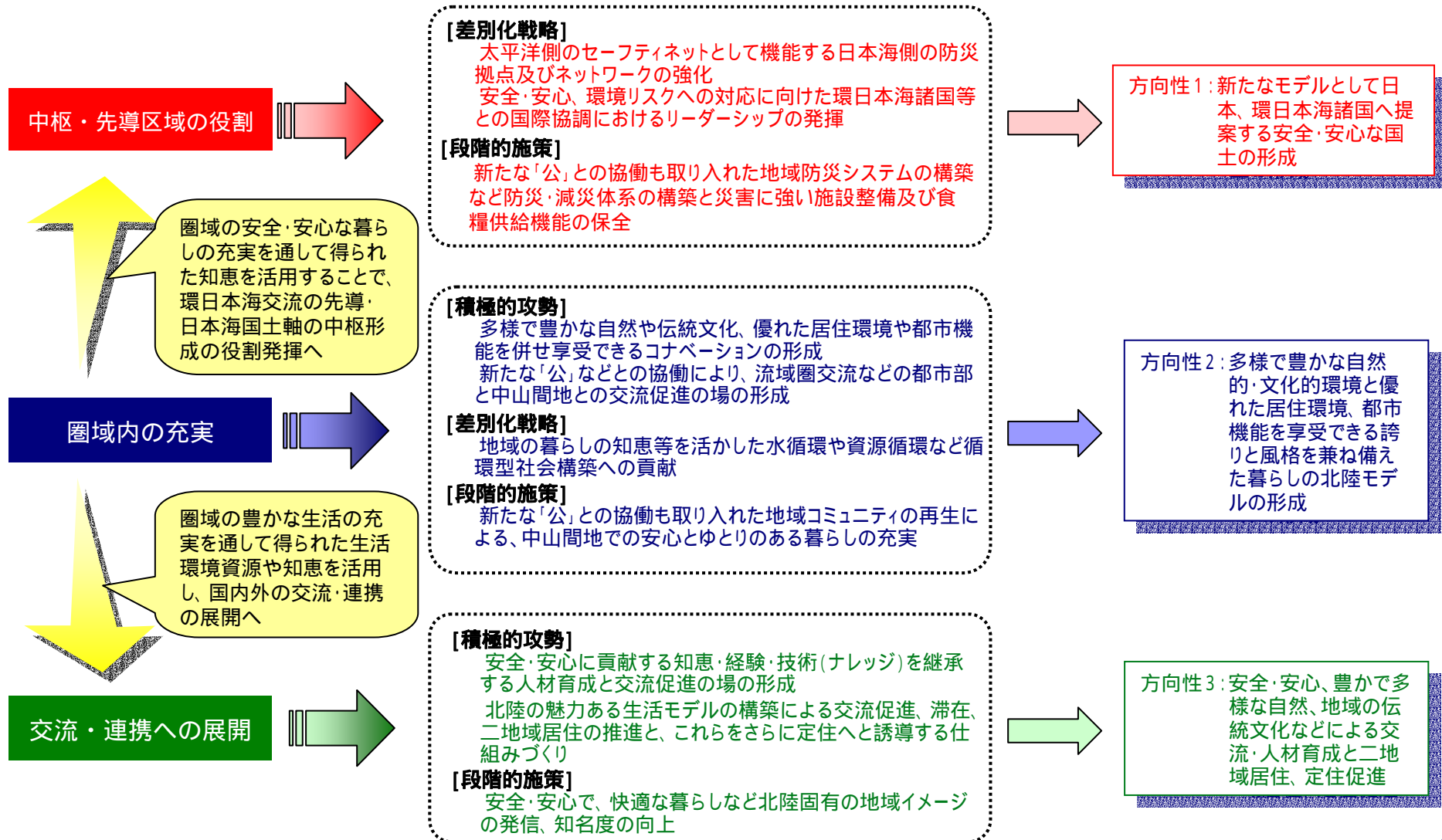
積極的攻勢: **機会**を活かして**強み**を強化し伸ばす戦略  
 段階的施策: **機会**を活かして**弱み**を克服する戦略

差別化戦略: **脅威**に対して**強み**を用いて優位性をアピールする戦略  
 専守防衛・撤退: **脅威**に対して**弱み**を補強する戦略

凡例 「中枢・先導区域の役割」に 対応する課題;赤字 「圏域内の充実」に対応する 課題;青字 「交流・連携への展開」に対応 する課題;緑字		外部環境	
		【機会】 グローバル化と環日本海諸国の発展 癒しの重視 新たな「公」の成長 防災技術の向上	【脅威】 人口減少・高齢社会の到来 経済や人的交流に関する国内他地域との 競争の激化 災害・治安・環境等リスクの増大
内部環境	【強み】 良質な生活環境 多様で豊富な地域資源等 地理的優位性	<p>多様で豊かな自然や伝統文化、優れた居住環境や都市機能を併せ享受できるコナベーションの形成                      ・強み:「良質な生活環境」、「多様で豊富な地域資源等」                      ・機会:「癒しの重視」</p> <p>新たな「公」との協働により、流域圏交流などの都市部と中山間地との交流促進の場の形成                      ・強み:「多様で豊富な地域資源等」                      ・機会:「癒しの重視」、「新たな「公」の成長」</p> <p>安全・安心に貢献する知恵・経験・技術(ナレッジ)を継承する人材育成と交流促進の場の形成                      ・強み:「多様で豊富な地域資源等」、「地理的優位性」                      ・機会:「癒しの重視」</p> <p>北陸の魅力ある生活モデルの構築による交流促進、滞在、二地域居住の推進と、これらをさらに定住へと誘導する仕組みづくり                      ・強み:「良質な生活環境」、「多様で豊富な地域資源等」、「地理的優位性」                      ・機会:「癒しの重視」</p>	<p>積極的攻勢</p> <p>差別化戦略</p> <p>太平洋側のセーフティネットとして機能する日本海側の防災拠点及びネットワークの強化                      ・強み:「良質な生活環境」、「多様で豊富な地域資源等」、「地理的優位性」                      ・脅威:「災害・治安・環境等リスクの増大」                      安全・安心、環境リスクへの対応に向けた環日本海諸国等との国際協調におけるリーダーシップの発揮                      ・強み:「多様で豊富な地域資源等」、「地理的優位性」                      ・脅威:「災害・治安・環境等リスクの増大」                      地域の暮らしの知恵等を活かした水循環や資源循環など循環型社会構築への貢献                      ・強み:「良質な生活環境」、「多様で豊富な地域資源等」                      ・脅威:「災害・治安・環境等リスクの増大」</p>
	【弱み】 厳しい自然環境 相対劣位な利便性 相対的に低い交流・連携 雪国の暗いイメージ	<p>新たな「公」との協働も取り入れた地域防災システムの構築など防災・減災体系の構築と災害に強い施設整備及び食糧供給機能の保全                      ・弱み:「厳しい自然環境」                      ・機会:「新たな「公」の成長」、「防災技術の向上」</p> <p>新たな「公」との協働も取り入れた地域コミュニティの再生による、中山間地での安心とゆとりのある暮らしの充実                      ・弱み:「相対劣位な利便性」、「相対的に低い交流・連携」                      ・機会:「新たな「公」の成長」</p> <p>安全・安心で、快適な暮らしなど北陸固有の地域イメージの発信、知名度の向上                      ・弱み:「雪国の暗いイメージ」                      ・機会:「癒しの重視」</p>	<p>新たな「公」や情報システム等の活用</p> <p>段階的施策</p> <p>専守防衛・撤退</p> <p>防災・減災体系の構築と災害に強い施設整備及び食糧供給機能の保全                      ・弱み:「厳しい自然環境」                      ・脅威:「人口減少・高齢社会の到来」、「災害・治安・環境等リスクの増大」</p> <p>地域コミュニティの再生による、中山間地での安心とゆとりのある暮らしの充実                      ・弱み:「相対劣位な利便性」、「相対的に低い交流・連携」                      ・脅威:「人口減少・高齢社会の到来」、「経済や人的交流に関する国内他地域との競争の激化」</p>

## 4. 戦略的取り組みの方向性

- 「豊かな暮らし」という強みの再評価による圏域充実に向けた強みの磨き上げ・強化と、「厳しい自然環境」という弱みの克服と強みの優位性のアピールによる国内外の安全・安心な国土の形成へ提案しうる北陸モデルを構築し、強みの活用により交流から二地域居住、定住への促進を目指す



## 5. 地域づくりの方向性と課題

人々の生命を守る  
安全・安心国土

1

# 新たなモデルとして日本、環日本海諸国へ提案する安全・安心な国土の形成

### 【北陸圏の課題】

(1) 新たな「公」との協働も取り入れた地域防災システムの構築など防災・減災体系の構築と災害に強い施設整備及び食糧供給機能の保全

### 【実現方策（アイデア）の取り組み例】

- (1) 新たな「公」との協働や適切な土地利用の誘導・規制による治山・治水、流域管理体制の構築など(ソフト施策)と施設整備など(ハード施策)とが一体となった災害対策など、災害に強い国土空間整備の推進
- (2) 侵食等から国土を守る海岸保全の推進
- (3) 新たな「公」との協働も取り入れた地域コミュニティによる減災体制の構築(避難訓練の実施マニュアル策定及び運用訓練の実施、防災相互協力協定の締結、行政・企業などのBCPの促進、安全・安心向上に関する人材教育の充実等)
- (4) 都市部と中山間地をつなぐ圏域内アクセスの強化
- (5) 大規模地震を踏まえた建物・構造物の耐震化の促進と延焼危険性のある市街地の再生・再構築
- (6) 新たな「公」との協働も含めた雪対策の充実
- (7) 災害時の救済、復旧を支える緊急輸送道路ネットワークの整備

(2) 太平洋側のセーフティネットとして機能する日本海側の防災拠点及びネットワークの強化

- (1) 東海・東南海地震等発生時における、太平洋側への支援物資・人員等の輸送を可能とする、関東・中部・近畿各方面への海上交通・陸上交通(新幹線、高速道路等)の機能連携・強化
- (2) 支援物資等の備蓄及び被災者の受け入れ体制の構築
- (3) 情報データベースやネットワークのバックアップ機能など、情報通信基盤の強化
- (4) 広域的な防災体制の確立

(3) 安全・安心、環境リスクへの対応に向けた環日本海諸国等との国際協調におけるリーダーシップの発揮

- (1) 集中立地する発電所等の安全性確保に対する消費地との負担分担などエネルギーの安定供給のための仕組みづくりの検討
- (2) 安定した漁獲量の確保のための対岸国とのルール作りや資源増加に向けたプログラムの検討
- (3) 日本海対岸諸国に起因する漂着ごみなどの海洋の環境対策、酸性雨、黄砂等の環境リスクへの対処に向けた国際協力の推進

## 5. 地域づくりの方向性と課題

ゆとり・利便性を備えた暮らし(生活)・環境

2

多様で豊かな自然的・文化的環境と優れた居住環境、都市機能を楽しむ誇りと風格を兼ね備えた暮らしの北陸モデルの形成

### 【北陸圏の課題】

(1) 多様で豊かな自然や伝統文化、優れた居住環境や都市機能を併せ享受できるコナベーション( )の形成

( )コナベーション; 接続都市の意であり、適度な大きさの都市が接続し、近接して海・山などの自然環境を享受できる北陸独自の都市像を表現

(2) 新たな「公」との協働も取り入れた地域コミュニティの再生による、中山間地での安心とゆとりのある暮らしの充実

(3) 新たな「公」との協働により、流域圏交流などの都市部と中山間地との交流促進の場の形成

(4) 地域の暮らしの知恵等を活かした水循環や資源循環など循環型社会構築への貢献

### 【実現方策(アイデア)の取り組み例】

- (1) 多様な都市機能の集積と機能分担による中心市街地活性化の促進
- (2) 北陸の特色ある自然環境、伝統文化、優れた住環境等の活用と充実整備
- (3) 若者から団塊世代など優秀な人材の受け入れに向けた北陸地域ブランドの戦略的展開の仕組みづくり
- (4) 農林水産業、観光産業、伝統産業等との連携で、地産地消など、より充実した快適な暮らしを構築
- (5) 新幹線開通の効果を高める地域の公共交通など二次交通のネットワークの強化
- (6) 高齢者、子育て世代等の多様な世代の生活ニーズに適う建築物・移動空間のバリアフリー化など生活支援の拡充

- (1) 新たな「公」との協働や情報システムの整備・活用、中山間地の暮らし再生の支援センターの設置などによる地域コミュニティの育成
- (2) 携帯端末等の通信手段を整備・活用した住民相互の情報ネットワークの構築による防災・防犯システムや地域による相互支援体制の構築
- (3) 新たな「公」との協働、団塊世代の受け入れも含めた都市と中山間地との交流・連携による広域医療や福祉等の暮らしの安心ネットの構築及び人材の育成・確保
- (4) 集落間ネットワークの強化や圏域交通ネットワークの整備
- (5) 地産地消の魅力ある地域コミュニティ拠点の形成

- (1) 都市との交流や新たな「公」と一体となった優れた自然環境の活用に向けた流域圏交流などの取り組み体制の構築
- (2) 企業等も含めた都市部・中山間地の交流を推進し、中山間地の製品の育成・活用を図る仕組みの構築
- (3) 国内外の人材育成と高齢者の生きがい創出に向けた都市部・中山間地の知恵・技術・経験をテーマとした体験交流の場の創出

- (1) 地域の暮らし、伝統産業が培ってきた知恵・経験・技術を掘り起こし、循環型社会に活かすことのできる技術の再構築と発信
- (2) 廃棄物の広域的処理、3R、不法投棄対策の推進
- (3) 地球環境の保全や大気、騒音等に係る生活環境の改善
- (4) 良好な水環境の保全・改善に向けた流域管理などの推進

## 5. 地域づくりの方向性と課題

優れた居住環境を  
活かした交流・定住

3

### 安全・安心、豊かで多様な自然、地域の伝統文化などによる 交流・人材育成と二地域居住、定住促進

【北陸圏の課題】

【実現方策（アイデア）の取り組み例】

(1) 安全・安心で、快適な暮らしなど北陸固有の地域イメージの発信、知名度の向上



- (1)大規模地震災害、風水害、雪害等の安全向上技術の研究と確立した技術の実践・教育と国内外発信(既存防災技術、地域の仕組み、広域的支援・連携体制、遠隔地の支援システム)
- (2)雪に強い建築技術、防風林など災害に強い伝統技術の研究・教育と産業化を図り、その成果を国内外へ発信
- (3)新たな「公」との協働などによる中山間地の暮らしを支える仕組みづくりとその仕組みを国内外へ発信
- (4)特色ある自然環境、優れた住環境等に加え、安心が確保された暮らしのアピールによる北陸の本来持つ地域イメージの発信

(2) 安全・安心に貢献する知恵・経験・技術(ナレッジ)を継承する人材育成と交流促進の場の形成



- (1)雪国ならではの多様な生活の知恵・経験を伝承する仕組みの構築による人材育成と交流促進
- (2)新たな「公」との協働により、エコツーリズムなどの雪(国生活)の資源を最大限に活用した自然体験型サービスの提供体制の構築
- (3)文化芸術活動の参加機会の充実や新しい北陸文化の創造・発信
- (4)セカンドライフを求める団塊世代の受け入れ促進の仕組みづくり
- (5)環日本海諸国をはじめとする世界からの(交流)人口の受け入れ促進の仕組みづくり

(3) 北陸の魅力ある生活モデルの構築による交流促進、滞在、二地域居住の推進と、これらをさらに定住へと誘導する仕組みづくり



- (1)安全・安心で快適な暮らしの確立と、そのイメージの発信による交流促進や滞在、二地域居住の推進
- (2)多彩な観光資源や体験型滞在をきっかけとし、優れた住環境の魅力による二地域居住へと誘導する仕組みづくり
- (3)都市(利便性)と農山村(スローライフな環境)の近接性を活かしたコンパクトな生活モデルの再構築と発信
- (4)地域の魅力ある生活モデルの構築による滞在、二地域居住から定住へと誘導する仕組みづくり



<地域づくりの方向性>	<実現に向けての課題>	<実現方策(アイデア)の取り組み例>
<p><b>1. 新たなモデルとして日本、環日本海諸国へ提案する安全・安心な国土の形成</b></p> <p>地域の知恵、新たな情報システム技術の活用を進め、減災も視野に地域全体での国土保全を進めつつ、地理的特徴も踏まえた、太平洋側のセーフティネットとして、そして環日本海諸国全体の国際的な安全・安心向上に貢献</p> <p style="text-align: center;">人々の生命を守る 安全・安心国土</p>	<p><b>(1)新たな「公」との協働も取り入れた地域防災システムの構築など防災・減災体系の構築と災害に強い施設整備及び食糧供給機能の保全</b></p> <p>震災や水害など自然災害対策の施設整備や情報システムの活用、新たな「公」との協働による流域管理体制や地域コミュニティの再構築など減災体制の構築</p> <p><b>(2)太平洋側のセーフティネットとして機能する日本海側の防災拠点及びネットワークの強化</b></p> <p>豊かな資源備蓄、日本の経済・産業の中枢が集積する太平洋側を補完するネットワークの構築により、国全体の安全・安心に貢献</p> <p><b>(3)安全・安心、環境リスクへの対応に向けた環日本海諸国等との国際協調におけるリーダーシップの発揮</b></p> <p>日本海の海洋資源の保護や漂着ごみなど海洋対策、発電所等の重要なエネルギー施設の安全、黄砂や酸性雨等の影響緩和など日本海対岸諸国の環境リスクなどに対処するため、大都市圏との連携、行政や新たな「公」と地域住民との協働、対岸国との国際協調のリーダーシップを図り、国内外の安全・安心の確立に貢献</p>	<p>&lt;関連キーワード&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-圏域内部の安全・安心の確保</li> <li>-新たな「公」との連携</li> <li>-北陸型地域コミュニティの維持・確保</li> <li>-流域、水系単位の取り組み推進</li> <li>-100年の計でみる治山の推進</li> </ul> <p>&lt;実現方策(アイデア)の取り組み例&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)新たな「公」との協働や適切な土地利用の誘導・規制による<b>治山・治水、流域管理体制の構築</b>など(ソフト施策)と施設整備など(ハード施策)とが一体となった災害対策など、災害に強い国土空間整備の推進</li> <li>(2)侵食等から国土を守る<b>海岸保全</b>の推進</li> <li>(3)新たな「公」との協働も取り入れた地域コミュニティによる減災体制の構築(避難訓練の実施マニュアル策定及び運用訓練の実施、防災相互協力協定の締結、行政・企業などのBCPの促進、安全・安心向上に関する人材教育の充実等)</li> <li>(4)都市部と中山間地をつなぐ圏域内アクセスの強化</li> <li>(5)大規模地震を踏まえた建物・構造物の耐震化の促進と延焼危険性のある市街地の再生・再構築</li> <li>(6)新たな「公」との協働も含めた雪対策の充実</li> <li>(7)災害時の救済、復旧を支える緊急輸送道路ネットワークの整備</li> </ol> <p>(1)東海・東南海地震等発生時における、太平洋岸への支援物資・人員等の輸送を可能とする、<b>関東・中部・近畿各方面への海上交通、陸上交通(新幹線、高速道路等)の機能連携・強化</b></p> <p>(2)支援物資等の備蓄及び被災者の受け入れ体制の構築</p> <p>(3)<b>情報データベースやネットワークのバックアップ機能など、情報通信基盤の強化</b></p> <p>(4)広域的な防災体制の確立</p>
<p><b>2. 多様で豊かな自然的・文化的環境と優れた居住環境、都市機能を楽しめる誇りと風格を兼ね備えた暮らしの北陸モデルの形成</b></p> <p>コンパクトな中に、変化に富んだ個性ある豊かな自然、伝統文化と優れた居住環境、都市機能を併せ享受できる、ゆとりと利便性を兼ね備えた、持続可能な多自然居住地域を形成</p> <p style="text-align: center;">ゆとり・利便性を備えた暮らし(生活)・環境</p>	<p><b>(1)多様で豊かな自然や伝統文化、優れた居住環境や都市機能を併せ享受できるコナベーション<sup>1)</sup>の形成</b></p> <p>多様で豊かな自然や伝統文化、優れた居住環境や都市機能がコンパクトな地域の中に享受できる、風格と魅力ある利便性の高い集約拠点及び圏域内交通ネットワークの構築によるコナベーションの形成</p> <p>( )コナベーション; 接続都市の意であり、適度な大きさの都市が接続し、近接して海・山などの自然環境を享受できる北陸独自の都市像を表現</p> <p><b>(2)新たな「公」との協働も取り入れた地域コミュニティの再生による、中山間地での安心とゆとりのある暮らしの充実</b></p> <p>新たな「公」との協働、団塊世代の受け入れ、都市と中山間地の交流、情報システムの構築と活用による遠隔医療・福祉、防犯など中山間地で安心してゆとりをもって暮らすことのできる環境の維持・向上</p> <p><b>(3)新たな「公」との協働により、流域圏交流などの都市部と中山間地との交流促進の場の形成</b></p> <p>新たな「公」との協働や、都市と中山間地の上下流の流域圏交流など域内外の体験交流を通して、森林や農地等のもつ公益的機能(生態系保全、レクリエーション機能、等)の活用を推進</p> <p><b>(4)地域の暮らしの知恵等を活かした水循環や資源循環など循環型社会構築への貢献</b></p> <p>水循環や資源循環などの循環型社会構築に寄与する暮らしの知恵・技術を磨き上げ、定着させるとともに、その技術を国内外に発信することで、地球環境保全への貢献を図り、新たな地域の誇りを創出</p>	<p>&lt;関連キーワード&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-3県の県庁所在地の近接さなどコンパクトさを活かした地域づくり</li> <li>-新幹線開通に伴う域内連携を強化する二次交通など交通ネットワークの強化</li> </ul> <p>&lt;実現方策(アイデア)の取り組み例&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)多様な都市機能の集積と機能分担による中心市街地活性化の促進</li> <li>(2)北陸の特色ある自然環境、伝統文化、優れた住環境等の活用と充実整備</li> <li>(3)若者から団塊世代など優秀な人材の受け入れに向けた北陸地域ブランドの戦略的展開の仕組みづくり</li> <li>(4)農林水産業、観光産業、伝統産業等との連携で、地産地消など、より充実した快適な暮らしを構築</li> <li>(5)<b>新幹線開通の効果を高める地域の公共交通など二次交通のネットワークの強化</b></li> <li>(6)高齢者、子育て世代等の多様な世代の生活ニーズに合う建築物・移動空間のバリアフリー化など生活支援の拡充</li> </ol> <p>&lt;関連キーワード&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-新たな「公」との連携</li> <li>-中山間地の地域コミュニティの活力の維持</li> <li>-中山間地の公共交通・情報基盤の整備・確保</li> </ul> <p>&lt;実現方策(アイデア)の取り組み例&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)新たな「公」との協働や<b>情報システムの整備・活用、中山間地の暮らし再生の支援センターの設置</b>などによる地域コミュニティの育成</li> <li>(2)携帯端末等の通信手段を整備・活用した住民相互の<b>情報ネットワークの構築</b>による防災・防犯システムや地域による相互支援体制の構築</li> <li>(3)新たな「公」との協働、団塊世代の受け入れも含めた都市と中山間地との交流・連携による広域医療や福祉等の暮らしの安心ネットの構築及び人材の育成・確保</li> <li>(4)<b>集落間ネットワークの強化や圏域交通ネットワークの整備</b></li> <li>(5)地産地消の魅力ある地域コミュニティ拠点の形成</li> </ol> <p>&lt;関連キーワード&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-100年の計でみる治山の推進</li> <li>-集落の維持</li> <li>-企業の力の連携・活用と新たな「公」との連携</li> <li>-都市と中山間地、上下流などの人材育成・交流の場、仕組みづくり</li> <li>-食糧供給機能の維持</li> </ul> <p>&lt;実現方策(アイデア)の取り組み例&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)都市との交流や<b>新たな「公」と一体となった優れた自然環境の活用</b>にむけた<b>流域圏交流などの取り組み体制の構築</b></li> <li>(2)<b>企業等も含めた都市部・中山間地の交流</b>を推進し、中山間地の製品の育成・活用を図る仕組みの構築</li> <li>(3)国内外の人材育成と高齢者の生きがい創出に向けた都市部・中山間地の知恵・技術・経験をテーマとした体験交流の場の創出</li> </ol>
<p><b>3. 安全・安心、豊かで多様な自然、地域の伝統文化などによる交流・人材育成と二地域居住、定住促進</b></p> <p>安全・安心、地域の伝統文化、豊かで多様な自然などによる国内外への支援・貢献などの交流を促進するとともに、交流を通じた地域の知恵・技術の継承と人材育成による地域の発展を促進</p> <p style="text-align: center;">優れた居住環境を活かした交流・定住</p>	<p><b>(1)安全・安心で、快適な暮らしなど北陸固有の地域イメージの発信、知名度の向上</b></p> <p>都市部・中山間地の安全・安心で、快適な暮らしなど北陸固有の地域イメージの発信、知名度の向上。あわせて、日本海側の厳しい自然の中で培われた生活の中の知恵、伝統産業が生み出してきた技術など、安全・安心に貢献する知恵・経験・技術(ナレッジ)の確立と発信</p> <p><b>(2)安全・安心に貢献する知恵・経験・技術(ナレッジ)を継承する人材育成と交流促進の場の形成</b></p> <p>安全・安心に貢献する知恵・経験・技術(ナレッジ)と地域イメージを活用した、全国及び世界での交流を促進し、交流を通じてナレッジを継承する人材の育成を図る。</p> <p><b>(3)北陸の魅力ある生活モデルの構築による交流促進、滞在、二地域居住の推進と、これをさらに定住へと誘導する仕組みづくり</b></p> <p>多彩な観光資源、雪国の生活文化、伝統文化など、北陸の魅力ある生活モデルの構築による交流を促進し、滞在、二地域居住から定住へと展開する仕組みの構築</p>	<p>&lt;関連キーワード&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-重要な地域資源である水資源の確保</li> <li>-循環型社会の形成</li> </ul> <p>&lt;実現方策(アイデア)の取り組み例&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)地域の暮らし、伝統産業が培ってきた知恵・経験・技術を掘り起こし、循環型社会に活かすことのできる技術の再構築と発信</li> <li>(2)廃棄物の広域的処理、3R、不法投棄対策の推進</li> <li>(3)地球環境の保全や大気、騒音等に係る生活環境の改善</li> <li>(4)<b>良好な水環境の保全・改善に向けた流域管理などの推進</b></li> </ol> <p>&lt;関連キーワード&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-誇ることのできる北陸ならではの知恵・文化の発信</li> <li>-生活の知恵、伝統産業・技術、安全・安心などの北陸で培われた北陸ナレッジの発信</li> </ul> <p>&lt;実現方策(アイデア)の取り組み例&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)大規模地震災害、風水害、雪害等の安全向上技術の研究と確立した技術の実践・<b>教育</b>と国内外発信(既存防災技術、地域の仕組み、広域的支援・連携体制、遠隔地の支援システム)</li> <li>(2)雪に強い建築技術、防風林など災害に強い伝統技術の研究・<b>教育</b>と産業化を図り、その成果を国内外へ発信</li> <li>(3)新たな「公」との協働などによる中山間地の暮らしを支える仕組みづくりとその仕組みを国内外へ発信</li> <li>(4)特色ある自然環境、優れた住環境等に加え、安心が確保された暮らしのアピールによる北陸の本来持つ地域イメージの発信</li> </ol> <p>&lt;関連キーワード&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-人材育成のコンテンツや交流メニューづくり</li> <li>-人材育成・交流の場、仕組みづくり</li> <li>-人材育成のための育てる場、多様な人材の集まる場を観光ともセットで提供</li> </ul> <p>&lt;実現方策(アイデア)の取り組み例&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)雪国ならではの多様な生活の知恵・経験を伝承する仕組みの構築による人材育成と交流促進</li> <li>(2)新たな「公」との協働により、エコツーリズムなどの雪(国生活)の資源を最大限に活用した自然体験型サービスの提供体制の構築</li> <li>(3)文化芸術活動の参加機会の充実や新しい北陸文化の創造・発信</li> <li>(4)セカンドライフを求める団塊世代の受け入れ促進の仕組みづくり</li> <li>(5)環日本海諸国をはじめとする世界からの(交流)人口の受け入れ促進の仕組みづくり</li> </ol> <p>&lt;関連キーワード&gt;</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>-三大都市圏との近接性</li> <li>-創造性を見出すことのできる良好な移住・居住資源の活用と発信</li> <li>-団塊世代を始めとする二地域居住の促進</li> </ul> <p>&lt;実現方策(アイデア)の取り組み例&gt;</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>(1)安全・安心で快適な暮らしの確立と、そのイメージの発信による交流促進や滞在、二地域居住の推進</li> <li>(2)多彩な観光資源や体験型滞在をきっかけとし、優れた住環境の魅力による二地域居住へと誘導する仕組みづくり</li> <li>(3)都市(利便性)と農山村(スローライフな環境)の近接性を活かしたコンパクトな生活モデルの再構築と発信</li> <li>(4)地域の魅力ある生活モデルの構築による滞在、二地域居住から定住へと誘導する仕組みづくり</li> </ol>

**安全・安心と暮らし**